

12月も新聞に多くの作文が掲載され、これで、4月から40作品が掲載

4月から取組んでいる新聞への作文の投稿。12月の6作品を含むと、なんと40作品が掲載されたこととなります。読書の大好きな松田っ子は、自分の気持ちなどを作文として表現することも上手になっています。

くずもちアイスを食べた

1年 こめすひなり

きょうのよるに、くずもちアイスを食べました。
なかましょうてんでくずもちアイスをかうときに、レジのおばちゃんたちが「このアイス、おいしいよね。」といっていました。
なので、おうちにかえてきたとき、どきどきしました。「ほんとうにおいしいかな。」とおもって食べると、おいしかったです。おもちときなことアイスのげつみょうかんが、すごいとおもいました。このアイスをつくったひとは、あたまがいいひとだとおもいました。とてもおいしかったくずもちアイス、また食べたいです。

(琉球新報 12月2日掲載)



スマホで弟の声聞いたよ

1年 まきし るか

きのう、お父さんが「スマホで電話してもいいよ。」と、言いました。だから、弟とお母さんのいるうらそえのおばあちゃんの家に、電話をかけました。すると、弟のりきの声「あーあー」ときこえてうるさかったので、わたしも同じように「あーあー」と言っていました。そのあと、わたしは「あはは」とわらいました。電話で声をきいたら、りきとお母さんに会いたくなりました。

(沖縄タイムス 12月8日掲載)



いつまでも元気でいてね

3年 とうま さくら

きょう、宜野座村社会福祉協議会に行って、おじいちゃんやおばあちゃん達と「交流会」をしました。ぶ台で道づねをおどったあと、おばあちゃん達が「すごい、おどりが上手」とほめてもらったことがとてもうれしかったです。また、かたたき音楽に合わせて、やさしくかたをたたいてあげたら、おじいちゃんもおばあちゃんもニコニコ笑顔でうれしそうだったので、わたしも思わずうれしくなりました。おじいちゃん、おばあちゃん、楽しい「交流会」をありがとう。百歳まで元気で長生きしてほしいです。

(琉球新報 12月15日掲載)



お父さんがかえってきた

2年 てるや とあ

きょうのゆうがた、お父さんが、五日間のお仕事のつりからかえってきました。ぼくと妹がトランプをしているとき、車の音がして、お父さんが帰ってきたのがわかりました。お父さんは、とおいところにつりに行っていました。そして、だいおうイカの手と足をつてきました。きょ大なイカもつりました。ぼくの知らないカツオノエボシも見たといいました。楽しそうでした。次は、ぼくも行きたいです。

(琉球新報 12月21日掲載)



ムーチャーづくり

1年 はなしろえいた

きのう、おばあちゃんのおうちでムーチャーづくりをしました。ぼくといとこで、ムーチャーのはっぱをとりにいきました。げつとうのはっぱがあったので、とりました。とってきたら、みんなでであらいました。みんなで、そのはっぱでムーチャーをつくりました。とてもたのしかったです。まぜるのは、おばあちゃんがまぜました。みんなでつくったムーチャーはおいしかったです。また、ムーチャーづくりをやりたいです。らいねんもつくといいいたので、らいねんもみんなでつくりたいです。

(琉球新報 12月25日掲載)



ぼうしのごむ

1年 山うちれんじゅ

きょう、ぼくがぼうしをみたら、ぼうしのゴムがいつもよりもきつくなっていました。とてもうれしかったです。おかあさん、ゴムをなおしてくれて、ありがとう。

(沖縄タイムス 12月25日掲載)

